

浄水場のしくみについて

～ 水道の水ができるまで ～

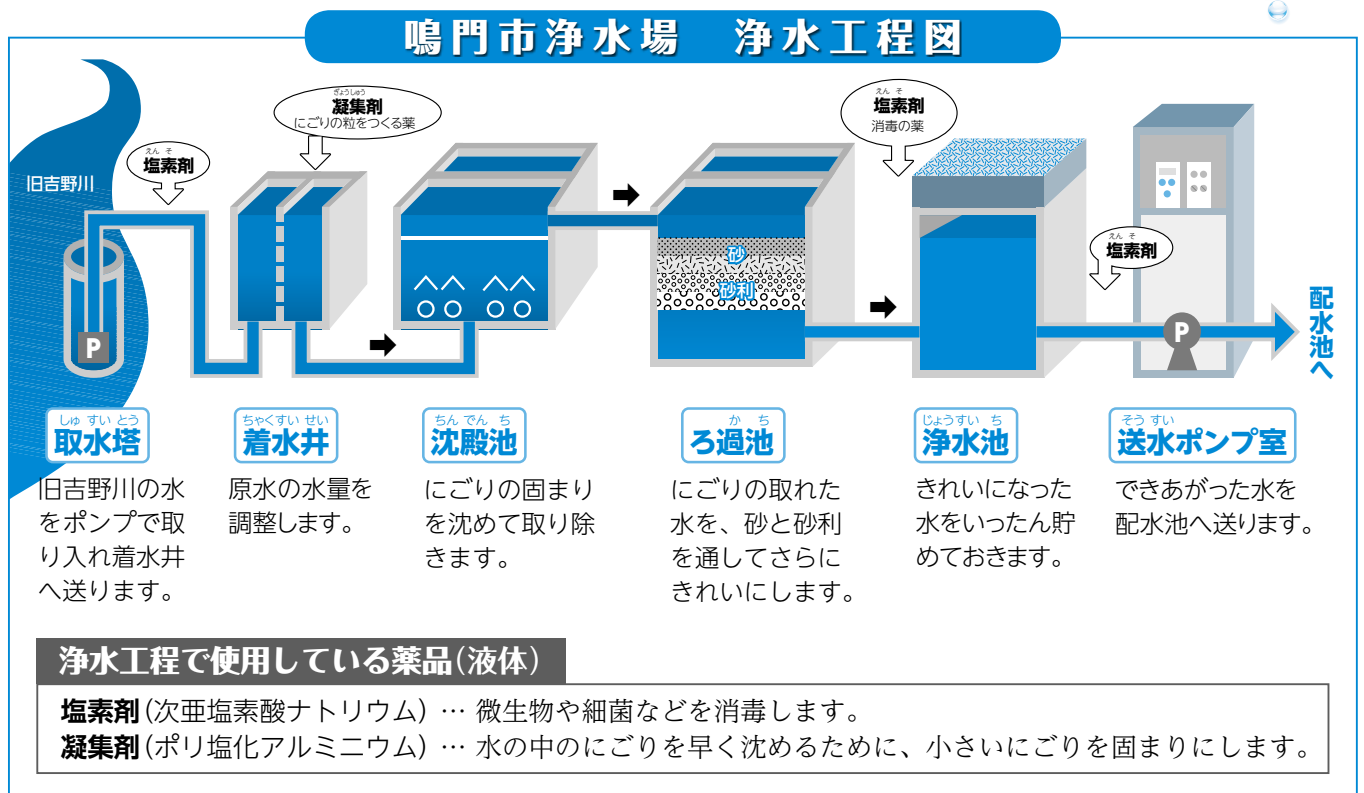
浄水場は水道水をつくる工場です

鳴門市浄水場は、川の水を取り入れてきれいにし、飲み水にするところです。旧吉野川から取り入れた水を安全で安心して飲むことができる水道水に処理する施設が浄水場です。

鳴門市の浄水場は昭和7(1932)年に建設され、昭和53(1978)年に現在のかたちに改修されました。一日の配水能力は5万6千立方メートルで、鳴門市のほぼ全域に給水しています。

浄水場のしくみ

旧吉野川から取り入れた水は、にごりがあったり、不純物で汚れていたりしています。このため、凝集剤という薬でにごりを固まりにして沈殿池に沈めます。さらに、ろ過池の砂と砂利を通してきれいにします。そして次亜塩素酸ナトリウムという薬で消毒し、安心して飲める水になります。



高架水槽 建物の上部に大きな水槽があり、この建物を高架水槽と呼びます。水が高いところから落ちる力を利用して、ろ過池の砂や砂利をきれいに洗います。



制御室(管理棟内) 浄水場では24時間体制で水量、水質、設備を監視し、皆さんに安心して安全な水をお届けしています。

※次回は「鳴門市浄水場のすがた」について詳しくご紹介します。

■問い合わせ先 企業局水道事業課 ☎088・685・3330
Eメール suidojigy@city.naruto.lg.jp